

渋谷混声合唱団
第25回定期演奏会
(創立35周年記念演奏会)

文化
オリンピックアード



MESSIAH メサイア

ヘンデル オラトリオ HWV56 [日本語字幕付]

2019 7/6



13:00 開場
13:30 開演

東京オペラシティ
コンサートホール タケミツメモリアル

指揮 水野 克彦

ソプラノ 佐竹 由美 アルト 谷地 畝 晶子 テノール 大島 博 バス 萩原 潤
オーケストラ Symphonia Fons Harmoniae 合唱 渋谷混声合唱団

料金

一般 3,000円 / 学生 2,000円 全席自由 ※未就学児入場不可

チケット申込

東京オペラシティチケットセンター ☎03-5353-9999

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ☎0570-02-9999 【Pコード 145-154】

主催 | 渋谷混声合唱団 共催 | 渋谷区 後援 | 渋谷区合唱連盟
お問い合わせ | 渋谷混声合唱団 <http://shibukon.com> ✉info@shibukon.com



芸術文化振興基金助成事業

指揮者 水野 克彦 Katsuhiko MIZUNO

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわった。しかし、十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ次第に傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなる。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。2000年より渋谷混声合唱団常任指揮者。



ソプラノ
佐竹 由美
Naomi SATAKE



アルト
谷地 敏 晶子
Shoko YACHIUNE



テノール
大島 博
Hiroshi OHSHIMA



バリトン
萩原 潤
Jun HAGIWARA



東京藝術大学及び同大学院博士課程修了、博士号を取得。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善奨励学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞。ライブツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。宗教作品のソリストとして活躍、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。オペラにおいても二期会、東京室内歌劇場など主要キャストとして出演。近年はテュステイ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。2009年文化庁芸術家在外研修(ニューヨーク)。よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。国立音楽大学教授、愛知県立芸術大学講師。二期会会員。

岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。第16回日仏声楽コンクール第1位。2012年度三菱地所賞受賞。第57回藝大メサイア、第28回台東区第九、第349回藝大合唱定期ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」のアルトソロ、第54回藝大定期オペラ「ファルスタッフ」クイックリ夫人を務める。また、J.Sバッハ「クリスマスオラトリオ」、「口短調ミサ」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルジャーク、デュルフレ「レクイエム」、メンデルスゾーン「パウロ」「エリヤ」、マーラー「交響曲第3番」、「交響曲第8番」等においてアルトソリストで出演している。現在、岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学短期大学部非常勤講師。

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。渡辺高之助、高丈二、原田茂生、中山梯一の各氏に師事。86年、同大学院在学中にミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91年D.フィッシャー＝ティースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの演奏者として定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでいる。96年からはくドイツ・リートのたのしみと題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としても幅広く活動している。立教大学大学院キリスト教学研究科、国立音楽大学非常勤講師。

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院オペラ研究科修了。文化庁在外派遣研修員としてベルリンへ留学。ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学大学院に入学し、最優秀の成績で同大学院を修了。2000年、ラインスベルク音楽祭「セヴィリアの理髪師」フィガロ役に合格し、その後もドイツのみならずヨーロッパ各地で演奏活動行っている。国内においては、二期会公演「フィガロの結婚」、「こうもり」、新国立歌劇場公演「トゥーランドット」、「魔笛」、「ローエングリン」、「ラ・ボエーム」「松風」などに出演。2003年五島記念文化財団オペラ新人賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして数々のコンサートや録音に参加、また「メサイア」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、「カルミナ・ブラーナ」、「エリヤ」、「ドイツレクイエム」などのソリストも務める。

伴奏ピアニスト 船澤めぐみ

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。永野美佐子、佐藤鈴子各氏に師事。チェコ政府奨励学生としてプラハ音楽アカデミーで2年間学ぶ。ソロ、室内楽を故ヤン・パネンカ氏に師事。聖徳大学大学院音楽文化研究科修了。渋谷混声合唱団、三菱UFJ銀行合唱団ピアニスト。

オーケストラ シンフォニア・フォンス・アルモニエ

2000年に惜しまれつつ世を去った声楽家 齋藤明生氏が、生前自ら指導する合唱団のために、親友であり音楽上の良き理解者でもあった海保泉・あけみ夫妻に結成を依頼し、1990年頃より活動を開始した。以後、楽団の名称や団員は演奏会の都度若干の変動があったが、齋藤氏と海保夫妻の要求する音楽性は常に一貫して維持されてきた。齋藤氏没後、現指揮者 水野克彦氏がその遺志を継いで活動を続けるにあたり、新たな楽団名をSymphonia Fons Harmoniae (シンフォニア・フォンス・アルモニエ) とした。これは「楽団調和の泉」という意味であり、海保泉氏の名にちなんでいる。

合唱 渋谷混声合唱団 Shibuya Mixed Chorus

渋谷混声合唱団は1985年4月に「渋谷区民音楽のつどい～第九を歌う会～」の有志により創設された市民合唱団です。2000年1月に指揮及び指導者として水野克彦先生を、伴奏ピアニストとして船澤めぐみ先生をお迎えしました。両先生の熱意あるご指導のもと、混声合唱の技能を磨いて水準の高い音楽性を求めようと毎週土曜日午後渋谷区内の会場で練習を重ね今日に至っています。

毎年、東京オペラシティコンサートホールタケミツメモリアルを舞台に、モーツァルト、バッハ、ヘンデル、ハイドン、ブラームス等の宗教曲を歌い継いできました。渋谷区から文化芸術団体としての評価をいただき、渋谷区文化総合センター大和田・さくらホールの開館記念でベートーヴェンの「交響曲第九番」を演奏いたしました。音楽を、歌を愛する人々が老若男女を問わず集う合唱団です。



合唱団員募集 男声パート大歓迎♪

私たちと一緒に宗教曲を楽しみませんか？ぜひ見学にいらしてください。

合唱指導 水野克彦
ピアニスト 船澤めぐみ
練習会場 渋谷区内
(リフレッシュ氷川、千駄ヶ谷区民会館など)
練習日程 毎週土曜 14:00～17:00 強化練習等あり
ホームページ <http://shibukon.com>

東京オペラシティへのアクセス

🚶 京王新線「初台駅」東口下車徒歩5分
(都営新宿線相互乗り入れ 新宿から2分)
🚶 渋谷駅西口バスターミナルより約20分
京王バス
渋谷61(初台駅行)渋谷63(中野駅行)
→東京オペラシティ南下車
渋谷64(中野駅行)→東京オペラシティ下車
京王・都営バス
渋谷66(阿佐ヶ谷駅行)→東京オペラシティ南下車



お問い合わせ 090-4611-8291(小川)
見学申込 info@shibukon.com

🚗 山手通り・甲州街道交差点首都高速4号線 上り「初台」出口 下り「新宿」出口
首都高中央環状線 内回り「中野長者橋」出口 外回り「初台南」出口
※詳しくは <http://www.tokyooperacity.co.jp/access/> をご覧ください